

22 世紀医療センター 令和6年度活動報告書

講座名 AMED 官民による若手研究者発掘支援事業

『バイオデザインメソッドによるアントレプレナー型若手医療機器研究者の開発サポート』

代表者 (職名) 心臓外科教授 (氏名) 小野稔

構成員 (職名) 部門長 (氏名) 前田祐二郎

【 講座概要 】

バイオデザインメソッドを用いシーズ段階にある医療機器開発研究者の事業化支援を行いながら研究者の医療機器開発における必要な知識習得を行う。これにより研究者が医療機器開発におけるスキームを習得することで自立した開発が可能となることを目的とする。

【 研究内容 】

AMED が官民による若手研究者発掘支援事業によって採択した医療機器開発研究者9名(令和5年度採択研究者9名)に対し、教育プログラム及びマッチングイベントを通じた事業化のための開発サポートを実施する。また、当事業の最終年度であり事業のまとめを実施する。

【令和5年度活動実績】

本事業に採択された研究者9名(令和5年度採択者9名)に対し、教育プログラムおよびマッチングイベントによる開発サポートを推進した。

教育プログラムは、エキスパートメンタリングを行った。令和5年度採択者に対し、ニーズ評価、事業性評価、知財戦略、薬事戦略、開発サポートチームとの定期ミーティングを実施し、回数は146回であった。ケースメソッドは、2度実施した。開発サポートチームが講師となり、ケーススタディ教材を用い、医療機器開発で陥る問題点におけるディスカッションを行った。また、スタートアップ起業する要望のある研究者が多かったことから、事業計画書作成を行った。

マッチングイベントは、メドテックサロン、メドテックマッチング、ピッチイベント、ブース出展を実施した。月次で実施したメドテックサロンでは、PMDA相談や特許取得の実務に関するものから、研究計画策定方法など幅広いテーマで実施し、いずれも4点以上の高評価を得た(5点満点)。メドテックマッチングはWebにて2名の先生に登壇を頂き100名程度の参加に中開催した。また、オンサイトではMedtec JapanおよびHealth tech Japanでの展示を行い、アンケートの取得および研究者内容がわかるチラシを配布した。ピッチイベントは、令和5年度採択者全員9名がオンサイトにて実施し約300名の企業やVCが参加した。

開発サポートの効果測定のため、開発研究に対し、外部機関による進捗評価を実施した。評価は6項目を10点満点で採点された。令和5年度採択者は、事業開始時平均6.8点から1年度目終了時8.5平均点に上昇した。

また、R2-R4年度採択研究者の追跡調査の結果、30名中26名の研究者が各採択案件を行うための資金を獲得していた。

<講演会・研究集会>

2025年3月4日 @八重洲ミッドタウン Tokyo Biodesign Medtech Innovation day 2025開催